

# Sheaves on Manifolds Exercise I.16 の解答

ゆじとも

2021 年 2 月 9 日

Sheaves on Manifolds [Exercise I.16, [KS02](#)] の解答です。

## I Homological Algebra

**問題 I.16.**  $\mathcal{C}$  を加法圏とする。

(1)  $X \in \text{Ch}^-(\mathcal{C}), Y \in \text{Ch}^+(\mathcal{C})$  とする。以下の等式を証明せよ：

$$Z^0(\text{Tot}(\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y))) = \text{Hom}_{\text{Ch}(\mathcal{C})}(X, Y),$$

$$B^0(\text{Tot}(\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y))) = \text{Ht}(X, Y),$$

$$H^0(\text{Tot}(\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y))) = \text{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y).$$

ただしここで  $\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y)$  は二重複体とみなしている。

(2) さらに  $\mathcal{C}$  がアーベル圏であり、十分入射的对象を持つか、または十分射影的对象を持つと仮定する。

$X \in \mathbf{D}^-(\mathcal{C}), Y \in \mathbf{D}^+(\mathcal{C})$  に対して、次の等式を示せ：

$$H^0(R\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y)) = \text{Hom}_{\mathbf{D}(\mathcal{C})}(X, Y).$$

**証明.** (1) を示す。  $H^{i,j} \stackrel{\text{def}}{=} \text{Hom}_{\mathcal{C}}(X^{-i}, Y^j)$  とおけば、  $X \in \text{Ch}^-(\mathcal{C}), Y \in \text{Ch}^+(\mathcal{C})$  であることから、二重複体  $H^{i,j}$  は本文の条件 [(1.9.2), [KS02](#)] を満たし、  $\text{Ch}_f^2(\mathcal{C})$  に属する。  $f : X \rightarrow Y$  を  $\text{Ch}(\mathcal{C})$  の射とすると、  $f$  は  $\mathcal{C}$  の射の族  $f^n : X^n \rightarrow Y^n$  であって  $f^n \circ d_X^{n-1} = d_Y^{n-1} \circ f^{n-1}$  を満たすものである。よって、とくに  $f \in \bigoplus_{i+j=0} H^{i,j} = \text{Tot}^0(H^{\bullet,\bullet})$  であり、等式  $f^n \circ d_X^{n-1} = d_Y^{n-1} \circ f^{n-1}$  はさらに  $f$  が  $Z^0(\text{Tot}(H^{\bullet,\bullet}))$  に属することを意味する。以上で (1) の一つ目の等式が従う。  $f : X \rightarrow Y$  が homotopic to zero であるとする。このとき、ある  $\mathcal{C}$  の射の族  $s^n : X^n \rightarrow Y^{n-1}$  が存在して  $f^n = s^{n+1} \circ d_X^n + d_Y^{n-1} \circ s^n$  となる。射の族  $s = (s^n)_{n \in \mathbb{Z}}$  は  $\bigoplus_{i+j=-1} H^{i,j}$  に属し、等式  $f^n = s^{n+1} \circ d_X^n + d_Y^{n-1} \circ s^n$  は  $\text{Tot}^{-1}(H^{\bullet,\bullet}) \rightarrow \text{Tot}^0(H^{\bullet,\bullet})$  での  $s$  の像が  $f \in \text{Tot}^0(H^{\bullet,\bullet})$  となることを意味する。以上で (1) の二つ目の等式が従う。(1) の三つ目の等式は (1) の一つ目と二つ目の等式より直ちに従う。以上で (1) の証明を完了する。

(2) を示す。  $\mathcal{C}$  が十分射影的对象を持つ場合、  $\mathcal{C}^{\text{op}}$  を考えることによって、  $\mathcal{C}$  が十分入射的对象を持つ場合に帰着される (cf. [Remark 1.10.10, [KS02](#)])。よって、(2) を示すためには、  $\mathcal{C}$  が十分入射的对象を持つと仮定しても一般性を失わない。[Exercise 1.15, [KS02](#)] の意味で  $S_Y$  という記号を用いる。  $\mathcal{C}$  は十分入射的对象を持つので、[Exercise 1.15 (1), [KS02](#)] より  $\text{Hom}_{\mathbf{D}(\mathcal{C})}(X, Y) \cong \text{colim}_{Y' \in S_Y} \text{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y')$  となり、また [Exercise 1.15 (2), [KS02](#)] より  $R\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y) \cong \text{colim}_{Y' \in S_Y} \text{Tot}(\text{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y'))$  となる。  $H^0$  を取ることで、

$$H^0(R\text{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y)) \cong H^0(\text{colim}_{Y' \in S_Y} \text{Tot}(\text{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y')))$$

が従うが、 $S_Y$  は filtered であるから、余極限は  $H^0$  と可換して、

$$H^0(R\mathrm{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y)) \cong \mathrm{colim}_{Y' \in S_Y} H^0(\mathrm{Tot}(\mathrm{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y')))$$

が従う。よって、(1) の最後の等式で  $Y' \in S_Y$  に渡り余極限をとれば、

$$\begin{aligned} H^0(R\mathrm{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y)) &\cong \mathrm{colim}_{Y' \in S_Y} H^0(\mathrm{Tot}(\mathrm{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y')))) \\ &\cong \mathrm{colim}_{Y' \in S_Y} \mathrm{Hom}_{\mathbf{K}(\mathcal{C})}(X, Y') \\ &\cong \mathrm{Hom}_{\mathbf{D}(\mathcal{C})}(X, Y) \end{aligned}$$

が従う。以上で (2) の証明を完了し、問題 I.16 の解答を完了する。 □

## References

- [KS02] M. Kashiwara and P. Schapira. *Sheaves on Manifolds*. Grundlehren der mathematischen Wissenschaften. Springer Berlin Heidelberg, 2002. ISBN: 9783540518617. URL: <https://www.springer.com/jp/book/9783540518617>.